

お茶の学習

地域園芸クラブ

1.お茶の苗木植え

今から5年前、京都のお茶屋、祇園辻利（ぎおんつじり）さんより2本のお茶の苗木をいただきました。

自然観察学習園の維持管理協力ボランティア団体である私たちは、学校の先生方にお願ひし、当時1年生だった児童の手によって2本のお茶の苗木を園へ植えるという授業を実現していただきました。



お茶の木は5年経てば、葉を摘んでお茶が飲めるんだって。

みんなが6年生になったときお茶が飲めたらいいなあ！

2.生長するお茶の木

その後の5年間、2本のお茶の木は太陽の光を浴び、水やりや雑草抜きなどの世話をされ、順調に大きくなりました。



花が咲きました



つぼみができ



3.お茶の会の準備として

苗木を植えた児童もいよいよ6年生。木は茶摘みができるほどに生長しました。お茶の会を実施するにあたって、学校（授業をしてくださる先生方）と地域（お茶の木管理担当、地域園芸クラブ）と共に事前学習として京都の祇園辻利本社の元へ学習に伺いました。



お茶の淹れ方も教えていただきました



えいさいぜんじけんしょうちやひ
栄西禅師顕彰茶碑にて



地図記号の『茶畑』
は、お茶の種の配列からきているそう

←たくさんの種類のお茶の葉

建仁寺の開山である栄西禅師は宋から日本に茶の種を持ち帰り日本に茶を飲む習慣を広めたと伝えられています

また、児童が飲むためのお茶の葉を作りました。
茶摘み→茶葉を洗う→炒める→揉む→乾燥

1時間くらい炒めて揉みます



4.お茶の会

卒業も近づいた冬の日の2時間目、6年生全クラスが体育館に集まりお茶の会が行われました。



先生のお話 お茶の種類をクイズ形式で学びます

お茶の会プログラム

- 1 先生のお話
- 2 園芸クラブの方からのお話
- 3 苗木を植えたところからのビデオを見る
- 4 体験学習（3グループに分かれローテ）
 - ① 現在のお茶の木を見る
 - ② さまざまなお茶の葉を見る
 - ③ 育ったお茶の木の葉から作られたお茶を飲む
- 5 校長先生のお話



自分たちが植えたお茶の木。
その葉から作られた味は
どんなだろう。

100人分を超えるお茶を
急須でおいしく!

記念に
お茶の葉を



5.お茶の会を終えて (児童の感想より抜粋)



・1年生の時、5年後飲めるといいねということでずっと楽しみにしていました。お茶を飲めたのは、校長先生や園芸クラブのみなさんが、お茶の木を守ってくくださったからだと思います。本当にありがとうございました。どんな味が気になりお茶を飲んでみるとすごくおいしかったです。お茶の木を見た時、優しく葉っぱをわたしてくれた時すごくうれしかったです。(Tさん)

・1年の時に植えた時より、木がすごく大きくなっていて、本当に植えた物と同じか疑うくらい大きくなっていました。少しにがかったけど、お茶として飲めていてすごくおいしかったです。台風の時も地震の時も木を守って下さってありがとうございました。(Nさん)

・お茶の葉を発酵するかしらないかで種類が変わるということが勉強になりました。私は緑茶が一番好きです。(Sさん)

・お茶の種類は、葉っぱにテントをかぶせるだけで、ちがう種類ができるのだと教わりました。また、私たちが1年生で植えたお茶の木を見て、私たちがこれを植えたと思うと、とても生長したなと思いました。(Kさん)

・これまで、のどがかわいたからお茶を飲むという感覚だったけれど、今回のお茶の学習で試飲をしたときに、初めてお茶を楽しむことができました。お茶の葉をさわったとき、どれもにおいをかぎました。ぼくは、てんちゃとほうじ茶のにおいが気に入りました。(Iさん)

・お茶はいつもあたりまえのように飲んでいますが、本当はたくさんの人の手によって作られていることが分かり、とても勉強になりました。(Tさん)

・園芸クラブの方がいねいにお世話をしてくれていたのです、お茶もとてもおいしくあたたかみがあるものです。家族に話すと興味深く話を聞いてもらい、私もとてもうれしかったです。今度また様々なお茶をいれて飲み比べをしてみたいものです。(Yさん)

・お茶の種類がいっぱいで、においをかいだりさわったりしてよくわかりました。紅茶、ウーロン茶など、全部同じ木からできていたのは知らなかったです。(Kさん)

・とてもおいしかったです。あの「宇治茶大好き」という本もとても勉強になりました。記念にもらったお茶の葉は、おし花(葉?)にしてしおりにしたいと思っています。ありがとうございました。(Sさん)

